

## つれづれ

平成28年10月7日(金)

私には夢がある

「私には夢がある。私の4人の子どもたちがいつの日か、肌の色ではなく、人物の中身によって判断されるような国で暮らすという夢が。今、私には夢がある。」

「私には夢がある。いつの日か、我々の若い黒人の少女が、若い白人の少女と、姉妹そして兄弟として手をたずさえることができるようになるという夢が。今、私には夢がある。」

これは、人種差別撤廃運動の指導者であり牧師でもあった、マーティン・ルーサー・キング・ジュニア（キング牧師）の有名な演説の一節です。英語の教科書にも載っており、3年生の皆さんは、これから学習します。

彼が生きた時代、アメリカではまだまだ激しい人種差別がありました。白人以外の有色人種や少数民族に対する差別です。例えば、黒人と白人では、ホテルの入り口や、バスや列車の座席が明確に区別されていました。これら以外にも、多くの差別事象が存在しました。

彼は、このような不合理に異を唱え、立ち上がったのでした。しかし、暴力という手段には訴えず、民主的・平和的解決を目指しました。

キング牧師の演説には、「黒人も白人も平等に」という願いが込められています。同時に「黒人はこれまで差別を受けてきたけれど、それも許しましょう。許すことで全てを受け入れます」という思いがあります。これは、上記演説の下線部の言葉に集約されているのではないのでしょうか。

しかし、被差別側からすれば、差別をした側を許すことはなかなかできないものです。だからといって、いつまでも、差別されたことについての憎しみを抱きながら生き続けることを、彼はよしとはしませんでした。このような考えと行動が、1964年のノーベル平和賞受賞につながります。受賞理由は、「アメリカ合衆国における人種偏見を終わらせるための非暴力運動」でした。

社会を見渡せば、まだまだ差別や偏見が多く存在しています。世の中の不合理に対して、それをしっかり見抜く力をつけ、解決に向けて行動することが、差別や偏見のない平和な世界をつくることにつながるのです。

Martin Luther King Jr. (1929-1968) アメリカ・ジョージア州生まれ。キリスト教牧師。アフリカ系アメリカ人公民権運動の指導者。上記演説は1963年にワシントン D.C で行われたもの。1964年にノーベル平和賞を受賞。1968年、遊説活動中に暗殺される。

<保護者の皆様へ>

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

【大阪市教育委員会 天下茶屋中学校】で検索



QR code

天下茶屋中学校HP → <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=j762750>